

実践報告資料

人権課題（子ども）

研究内容【(1)、(2)、(3)、(4)】

研究テーマ：『命の大切さを基本として、思いやりの心、豊かな人権感覚を醸成し、
その実践力を身につけさせる』

学校名（赤穂市立赤穂東中学校）

ア 人権教育としてのねらい

- ・ 人権感覚の豊かな生徒を育てる。
- ・ 人権尊重の精神を徹底し、自立・向上の精神、思いやりの心の育成に努める。
- ・ 差別のない社会への展望を持たせ、差別解消の意欲と実践力の高揚を図る。

イ 研究の概要

昨年度、残念なことに校内での暴言や暴力による問題行動が発生した。生徒・保護者・地域にとって「安全で安心な学校づくり」を目指し、「いじめ・暴力のない笑顔あふれる学校」を教育目標とし、本年度も引き続き「気づき・考え・行動する」生徒の育成をめざし、学年や学級づくりを基盤とした取組を進めている。

領域	教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	音楽担当	1年生担任	全教職員	兵庫県情報セキュリティサポーター
実施日	11月4日	7月3日	6月3日～14日	6月7日
取組名	音楽会を成功させよう	思いやりの心を育てる	いじめ・暴力追放キャンペーン	ネット社会の人権侵害
目標	集団の中で、相手を認め、協力して、自分の役割を果たす。	相手の立場に立って物事を考え、思いやりの心を持って接していこうとする心を育てる。	相手を認め、お互いのよさに気づくことで、相手を思いやるやさしい心の育成を図る。	仕組みを知って被害を防ごう。
資料名		カーテンの向こう 出典 教育出版社 「心つないで」より		
指導内容や指導方法の工夫等	相手を思いやることのできる、やさしい心を育成するために、聴き手側の立場に立った指導を行う。聴いてもらえることに感謝する心や、聴く人に幸せを感じてもらえる音楽をめざすことを目標とした。	思いやりの心を持って人と関わることの大切さや本当の思いやりとは何なのかを考えさせる。指導においては、状況や環境を直感的に分かりやすくするために短冊や挿絵を多く使ったり、資料を分割して活用するなど工夫した。また、道徳は小中連携の観点から、小学校の先生にも授業参観いただき、意見を求めた。	やさしい心の育成をめざして生徒会がいじめ・暴力追放をキャンペーンとして企画し、取組にメリハリをつけて実施した。地域にも目を向け広い視野の人権感覚を身につけるため、朝のあいさつ運動を地域の方と連携して行った。生徒会の取組も通信を地域に配布するなど新たな取組を企画することで工夫した。	インターネットの指導に係る講師については、2年間を見通した系統性のある指導を依頼した。講演は先生による学習会形式で実施した。 専門用語や略語等の説明はもちろんのこと、ネット社会の危険性やブログの中の「暴言」とその人権侵害について知る。ネット社会の危険性について、地域、PTAとともに学ぶなど連携を図った。

領 域	総合的な学習の時間	特別活動		
指導者	ウィメンズネット・こうべ	3年生担任		
実施日	9月26日	12月		
取組名	DVの理解	高齢者との交流		
目 標	DVについての理解を深め、人を大切に作る心育てる。	やさしい心を育む。		
資料名				
指導内容 や指導方法の工夫 等	<p>講師による学習会形式で実施。一方通行の講演ではなく、生徒の寸劇や生徒のインタビューなど意見が反映されるように進めた。やさしい心で接し、相手を思いやる気持ちが育つようアンケートの活用も行った。</p> <p>DVを正しく理解するためにNPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべと連携し啓発を行った。</p>	<p>生徒会が中心となり老人介護施設「瀬戸内ホーム」を訪問する。</p> <p>弱者の立場を理解するための工夫として、訪問先を決定した。</p>		